

# まじは!!

## 「私に従いなさい」

「ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すことになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、『私に従いなさい』と言われた。」

(ヨハネによる福音書 第21章19節・新約聖書207頁)

はじめに

復活された主を覚えながら、今日も私たちは墓の前にまいりました。私たちはここで主が生きておられることを確信し、「私の主よ」との告白によってもたらされる力をいただくことができます。そして永遠の命に生かされている希望を持つことができるのです。今日は、その復活の主が、私たちに与えておられる使命を受け止めようと思います。

十字架と復活の証人

弟子たちは主が復活された日曜日の朝、毎週墓前で聖餐式を行うようになりました。今も、日曜日朝に礼拝を献げている理由であり、私たちはその礼拝で、主の十字架と復活が全人類の救いであるとの思いを深くしていくわけです。

主は、そのような私たちに「あなたがたは、これらのことの証人である」(ルカ 24:48)と宣言されます。これこそが復活の命に生かされた私たちの使命です。自分が救われ、祝福されただけでなく、同時に十字架と復活の証言者として立てられていることを忘れてはなりません。それでは、その使命を全うするには、どうしたら良いのでしょうか。

私を愛するか

ここで、十字架と復活を信じたペトロに、主は「私を愛するか」と問うています。それに対し、ペトロは「はい」と答え、「愛していることをあなたがご存じでしょう」と答えます。それを聞いて主は「私の小羊を飼いなさい」と命じられます。使命を告げる前に、「あなたは私を愛

するか」と問うておられることが重要です。

私たちはどのような場面でも、「主を愛している」と断言できるでしょうか。ペトロは裏切った過去があります。実は、この時も主が「命がけで愛するか(アガペー)」と問うているのに、ペトロは「慕っています(フィレオー)」と一段トーンを落とした表現を使っています。自信がなかったからです。2回目の問いもそうでした。そして3度目、主は「私を命がけでは愛せないのか」との意味にも受け取れる「私が好きか」と聞かれた、だからペトロは主の思いに応えることができない自分に「悲しくなった」(17)のでした。しかし、それでも主はペトロに言われたました。「私に従え」。そうです。ペトロに3度答えさせたのも3度の裏切りの上書きをさせ、克服するように願ったからです。

私に従え

私たちは、自分の不十分な信仰態度に自分は証人になれるような者ではないと判断してしまいます。しかし、主は、ペトロが主が自分を愛するような愛を持って答えられない、また不安を持っている、そしてもしかすると裏切るかもしれないとの思いをもっているのを知りながら、それを承知で「従え」と言われているのです。私たちは、「私に従え」との声に、「私は取るに足りないものですが、従います」と言うべきです。それが私たちのなすべき使命なのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「イエスはシモン・ペトロに、『ヨハネの子シモン、あなたはこの人たち以上に私を愛しているか』と言われた。ペトロが、『はい、主よ、私があなただを愛していることは、あなたがご存じです』と言うと、イエスは、『私の小羊を飼いなさい』と言われた。…三度目にイエスは言われた。『ヨハネの子シモン、私を愛しているか。』ペトロは、イエスが三度目も、『私を愛しているか』と言われたので、悲しくなった。そして言った。『主よ、あなたは何かもご存じです。私があなただを愛していることを、あなたはよく知っておら



れます。』イエスは言われた。『私の羊を飼いなさい。』…このように話してから、ペトロに、『私に従いなさい』と言われた。」(ヨハネによる福音書 21:15～19)

「全世界に出て行って復活の証人になりなさい」との使命をいただきましたが、私は弱く、人の前でも「イエスは救い主である」言うことができないと思います。しかし、主はそのような情けない私を知っておられながら、「私に従え」と言うてくださることが分かりました。私は自分のできる限り、あなたの十字架と復活を証します。御名によって祈ります。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (101) 第5章4節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「だが、ついには苦よもぎのように苦く 両刃の剣のように鋭くなる。」

◎口語訳 「しかしついには、彼女はにがよもぎのように苦く、もろ刃のつるぎのように鋭くなる。」

◎新改訳 「しかし、その終わりは苦よもぎのように苦く、もろ刃の剣のように鋭い。」

### 「苦よもぎ」

苦よもぎが何なのかははっきりしていませんが、薬草として用いられることがあるものの、多量に摂取すると逆にその毒性にあてられたようです。聖書では、「強烈な苦さ」が苦しみや悲しみの象徴として用いられました。偶像礼拝を指摘し、「あなたがたの中に毒草や苦よもぎの根があってはならない」(申命記 29:17)とたとえられているので、前節の「よその女」と連動していることがわかります。初めは蜜のように甘いけれども、誘惑に陥った後に苦よもぎのように破滅をもたらし、後悔を生むことを知るので。神の知恵に従うことにより、自分の生き方に平安が与えられるが、欲望に流されるならば、それは苦よもぎのような、後悔の消えない日々を過ごすということです。

黙示録には「苦よもぎの星」が出てきます(8:11)。この星は「松明のように燃えている大きな星」

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵(1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵(10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵(22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉(22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉(25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉(30:1～33)
  - d レムエルの言葉(31:1～31)

で「水の三分の一が苦よもぎのように苦く」なってしまう、そのため「多くの人が死んで」しまいます。神のさばきの道具として用いられ、苦しみの末の死をもたらすもので、命の源が損なわれて人間が生活できなくなってしまうのです。

もっと具体的には、人間が造った毒物などの蔓延、また汚染によって人体に影響が出ている様子だと解釈する学者もいます。罪への誘いが人間から倫理観を奪い、結果的に自分で自分の首を絞めるように、死へと追い込むことになるのだとの警告として受け止められます。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

ヨブ記第39章19節「あなたは馬に力を与え その首をたてがみで装わせ ばったのように跳びはねさせることができるか。」◆NHKなどでもよく放映されているが、自然で過ごす動物たちの生態を見ていると、神ご自身が養っているとしか思えない。誰がこのような機能と能力を与え、生きるすべを身につけさせたのか。ヨブはさまざまな質問に困惑しただろう。「わかりません」と繰り返し、そのたびごとに「あなたがお造りになったのです」と心で思いながら、「何でも知っている」とか「賢い」、「正しい」と言っていた自分を恥じるようになっていったはずである。

### ●賛美 / 50 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

ヨブ記第40章2節「非難する者が全能者と言い争うのか。神を責める者はこれに答えよ。」◆誰が神と争ったり、反論したりする者がいるだろうか。いや、私たちは時として、ヨブのように、無意識のうちに神と争うような高ぶった者になる。あなたはどれだけ神に文句を言っているだろうか。神の御心を悲しませるような言動をとっているだろうか。ヨブはここで消え入るようにして「私はあなたにさからうことなどできません。よくわかりました」と言っているが、神がなおも言葉を続けていることから、人間の罪がいかにがんこで心にこびりついているかがわかる。

### ●賛美 / 51 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

ヨブ記第41章26節「これはすべての高ぶるものを見下す 誇り高い獣たちすべての王である。」◆神がレビヤタン(恐らくワニ)の話がされているのではない。ワニは強暴で、しかも優れた能力を備えているので、どのような動物にも一目置かれている。だから、ワニは自分でも恐れを感じず、高ぶりふるまっているのだと言われる。ヨブはそのワニを通して、自分の真の姿を見せられたのである。神は徹底的にヨブを砕いた。私たちは、小手先の悔い改めではなく、このお取り扱いを受けたい。神の前にへりくだり、粉々に砕いていただこうではないか。

### ●賛美 / 53 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ヨブ記第42章10節「ヨブが友人たちのために祈ったとき、主はヨブの繁栄を回復した。そして、主はヨブの財産すべてを二倍に増やした。」◆神は友人たちを戒め、そしてヨブに謝罪するよう命じた。だがそれで終わりではなく、ヨブが友人たちを赦し、彼らのために祈る、そのときこそが終局となる。ヨブが神から取り扱われ、へりくだったからこそその行為だ。でなければ報復さえできた。実は、これこそが神からの最終試験だった。これに合格したヨブは、それまでの2倍の祝福を得た。人間関係の問題は私たちにも起こりうる。試験合格のために覚えておこう。

●賛美／54 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第1編3節「その人は流れのほとりに植えられた木のよう。時に適って実を結び、葉も枯れることがない。その行いはすべて栄える。」◆悪しき者の謀とは、神を忘れた生き方をしようとすることだ。独善的な信仰もまた同じ。自分が神の権威をもっているかのように人をさばくから、まわりは受け付けなくなってしまう。もし、私たちが神の御言葉に親しんで御心を知りていくなれば、必ず、「その行いはすべて栄える」。それは神の祝福がその人からかもしだされるからだ。その人によって人々は喜びの実をもたられしていくからだ。

●賛美／140 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるよう。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第2編9節「あなたは彼らを鉄の杖で打ち砕く 陶工が器を叩きつけるように。」◆この詩編は「メシヤ預言」すなわち、私たちが救う主お方が現れると預言している内容となっている。この世を見るとさまざまな人が悪事を行い、謀略を図り、また人を傷つけても平気な態度をしている。だれもが神をも恐れぬ勢いで生きているからだ。その中に生きる私たちはどれほど悩み、苦しんでいるだろう。そのような時こそ、救いを待ち望もう。私たちの魂を救って勝利をもたらし主、この世の悪を打ち砕く神が、私たちの味方となってくださる。

●賛美／141 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第3編2節「主よ、私の苦しみのなんと多いことでしょう。多くの者が私に立ち向かい」◆私たちは毎日悩みに囲まれて生活している。ダビデの家も決して順調ではなく、トラブル続きだった。特に家庭に多くの問題があった。この詩は息子アブシャロムが反逆し、命を狙われた時によんだものだ。苦しみの中、しかし、彼は「私は身を横たえて眠り、目覚めます」と、安眠している状態だったことがわかる。尋常の精神状態ではなからうに、なぜか。「主が私を支えておられるから」だった。いつまでたっても問題は出てくる。だから、主を頼るのだ。

●賛美／142 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【ルカによるふくいんしよ 5:27～32】

「マタイ」

(ルカ5:32)

けんこうしんだんは べつですが、げんきなひとは びょういんに いくことは ありません。びょういんの せんせい「どこが わるいのですか」と きいてきたときに、「どこも わるくありません」といったら、きっと、「では なんと びょういんに きたんですか」と きかれてしまうはずです。

イエスさまは「わたしが きたのは、ただしいひとを まねくためではなく、つみびとを まねいて くいあらためさせる ためである」といわれました。

イエスさまが おられた とき、「つみびと」とよばれるひとたちが たくさんいました。りっぼうがくしゃや パリサイはの ひとたちが、かみさまの めいれいに そむいているひと、けがれたことを しているひとを「つみびと」とよび、そのひとたちとは、なかよくしてはいけ

ないと いていたからです。だからといって、りっぼうがくしゃたちは、「つみびと」をたすけることは しませんでした。けいべつするだけです。

イエスさまは そんな「つみびと」をすくうために きたのだと いわれました。そして、そのひとたちの つみを ゆるし、すくいを あたえつづけました。

マタイも そのひとりです。ぜいきんをとることが マタイ(レビ)のしごとでした。それが けがれているといわれ、「つみびと」とよばれたのです。イエスさまは そのマタイに わたしについてきなさいと いうて、でしにしました。マタイは すべてを すてて、イエスさまにしたがいました。

ひとは みんな つみがあります。それを みとめて、じぶんが つみびとであると こくはくするなら、イエスさまは その つみを ゆるしきよめてくださるおかたです。わたしたちも イエスさまに つみを ゆるしていただき、そして イエスさまにしたがっていきましょう。

## ●かんがえてみよう

☆イエスさまは だれに「わたしに したがいなさい」と いわれましたか。(ルカ 5:27)

☆レビ(マタイ)は イエスさまに「したがいなさい」といわれて、どう しましたか。(ルカ 5:28)

☆イエスさまが りっぼうがくしゃたちに つみびとと なかよくしているといわれたとき、なんといいましたか。(ルカ 5:32)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

えんかいをもよおす

		い					え	
					よ	お		ん
お				す				
え	か	お						よ
	ん	を	よ	い	お	か		え
い	す			ん	え	を	も	お
ん						い	お	か
す	お	え	ん	か	い		を	も
よ	い	か	お		も	え		

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① しよしゅうぜい
- ② こうなんひとけ
- ③ にんびょう
- ④ いかえん

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「おぼろ月」

秋や冬は空気が凜として月も鮮やかに見えるのですが、春はどこをみてもほんやりしているように感じます。「春霞」ですね。この現象は、空気中の水分が増加しているからだそうです。気温が上がり、海や地面からの蒸発が盛んになるのですが、朝晩との寒暖差が多いために、その空気中にあった水分が冷やされ、光を散乱させているとのこと。それだけではなく、花粉の飛散や春風に乗って大陸から飛んでくる黄砂もかすむ原因らしいです。

ですから、この時期、月がかすんでいることがよくあるので、そんな時、自然に「おぼろ月夜」が口をついて出てきます。作詞は高野辰之、作曲は岡野貞一。このコンビはすごいですよ。「ふるさと」「春が来た」「春の小川」「もみじ」と、今も歌い継がれている名曲を2人で作っています。岡野貞一はクリスチャンでした。

おぼろ月夜の2番は「里わの火影(ほかげ)も 森の色も 田中の小径を 歩く人も 蛙(かわず)の鳴く音(ね)も 鐘の音も さながら霞める おぼろ月夜」。日本の原風景をこれだけ詩情豊かに表現している詩はあまりないような気がします。いつも歌いながら、この風景を守っていくべきだと思っ

## 聖書ふれあい街歩き

### ●ベト・アベン

ホセア書を読んでいくと、ベト・アベンという町が登場してきます。ヨシユア記とサムエル記に出てくるだけで、めだつたような町ではないのですが、どういうわけかホセア書には3箇所も出てくるのです。「ギルガルにおもむくなベト・アベンに上るな」(4:15)、「ギブアで角笛を ラマでラッパを吹き鳴らせ・ベト・アベンで鬨の声を上げよ」(5:8)、「サマリアの住民はベト・アベンの子牛のゆえにおののく」(10:5)と、読んでわかるように、どれもよい意味で用いられているわけではありません。

どうもこの町は「ベテル」の一部であったと思われる。ベテルは「ベト・エル」つまり、神の家です。ところが、北イスラエル王国の相續地の一つになったことで、北王国全体が偶像を信じ、墮落していきました。ホセアの預言ではその民たちを「私の民、私の子ではなくなった」けれども神は再び、その憐れみによって「我が民」と呼んでくださるのだという回復の約束となっています。その時に、「ベト・アベン」(つまり、悪魔の家、偶像の家、虚しい家との意味)と呼ばれるようになってしまったその町が、再びベト・エル(神の家)に戻るようになっていくのだぞと言っているのです。

## ななめ聖書 先週のこたえ

を	せ	る	ず	い	け	ん	れ	さ
れ	ず	ん	さ	を	せ	け	い	る
け	い	さん	れ	る	せ	を	ず	
せん	け	い	さ	ず	れ	る	を	
る	を	ず	れ	せん	さ	け	い	
され	い	る	け	を	ず	せん		
い	け	れ	を	ん	さ	る	ず	せ
ん	る	せ	け	ず	い	を	され	
ず	さ	を	せ	る	れ	い	ん	け

- ①いっさいのけんのう
- ②すべてのため
- ③よのおわり
- ④てんとち



## パウロの弁明

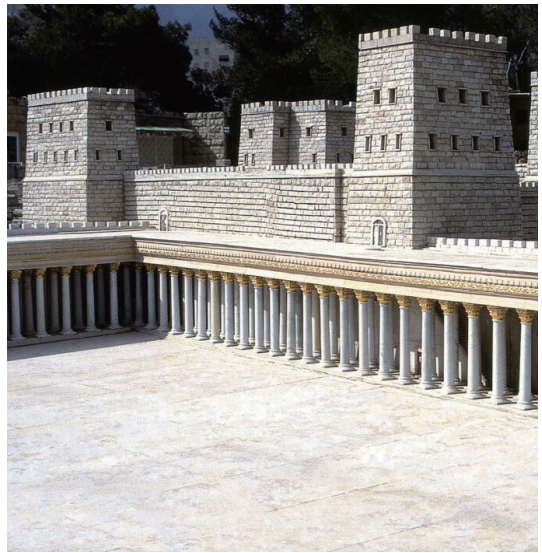
「兄弟であり父である皆さん、これから申し上げる私の弁明を聞いてください。」

パウロがヘブライ語で語りかけるのを聞いて、人々はますます静かになった。

パウロは言った。「私は、キリキヤ州のタルソスで生まれたユダヤ人です。そして、この都で育ち、ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しい教育を受け、今日の皆さんと同じように、熱心に神に仕えてきました。

私はこの道を迫害し、男女を問わず縛り上げて牢に送り、殺すことさえしたのです。このことについては、大祭司も長老会全体も、私のために証言してくれます。

実は、この人たちからダマスコにいる同志に宛てた手紙までもらい、その地にいる者たちを縛り上げ、エルサレムへ連行して処罰するために出かけて行ったのです。」(使徒言行録22:1~5)



アントニオ要請(模型)

## 【弁明の勇気】

パウロは伝道旅行の際にたびたびユダヤ人から「裏切り者」「危険人物」として排撃され、ひん死の状態に陥るほどの迫害をも受けています。ここはそのユダヤ人たちの総本山、エルサレムです。群衆の中の一握りも、パウロをかばう者たちがいない中、死を覚悟して語り始めます。

ペトロは手紙の中で、「義のために苦しみを受けることがあっても、あなたがたは幸いです。彼らを恐れたり、心を乱したりしてはなりません。ただ、心の中でキリストを主と崇めなさい。あなたがたの抱いている希望について説明を求める人には、いつでも弁明できるよう備えていなさい。それも、優しく、敬意をもって、正しい良心で、弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの善い振る舞いを罵る者たちは、悪口を言ったことで恥じ入るようになります。」(ペトロの手紙一3:14~16)と書き記しています。

何か、この場面を見ていたかのような表現ですが、おそらく、この群衆の中にペトロはいなかったと考えます。ペトロもまた各地を巡回していたからです。パウロだけが動き回っているような印象ですが、弟子たちは主イエスからの命令、大宣教命令と言われています。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16:15、マタイ28:19)との言葉に使命を持って取り組んでいたわけですから、招集がかからない限り、エルサレムには戻ってきません。ですので、可能性は限りなく低いと言えます。

ということは、ペトロもまた、パウロと同様に危機的なときがあり、しかし、勇気を持って福音を証していたことがわかります。私たちも、い

つでも主イエスが救い主であると語れる用意をさせていただきたいと思います。しかも、それが順境の時だけでなく、追い詰められているような状況であっても勇気を持って語ることができたら幸いです。

## 【では他の弟子はいたのか】

ペトロはいなかったのですが、「私たちは(つまり著者のルカを含む)…エルサレムに上った。カイサリアの弟子たちも数人同行して」(21:15、16)とありますから、確実に、パウロの同行者、そしてかなりの人数がエルサレムまでは一緒に来ています。テモテヤルカもエルサレムには到着していた可能性が高いのですが、その同行者たちは神殿に同行していません。パウロと共に神殿に行ったのは「ナジル人の誓い」を立てていた4人(21:26)だけです。テモテヤルカは純粋なユダヤ人ではありません。パウロはこのような事件が起こるのではないかと想定し、ユダヤ人を刺激しないようなメンバーを選んだのだらうと思います。そのため、同行者たちは宿泊先のナムソンの家や別の場所におり、神殿の中にはいなかったと考えるのが自然です。いたとしても遠く離れて様子をうかがう程度でしょう。

主イエスが逮捕されたとき、弟子たちは四散しています。唯一ヨハネだけが十字架のそばにいました(ヨハネ19:26)が、やはり気になって、みな、遠巻きに十字架を見ていたに違いありません。ペトロはいても立ってもいられず大祭司の庭で裁判を受けようとしている主イエスの様子を見に行きましたが、こっそりと行ったはずなのに「あなたは弟子だ」と言われて見つかってしまい、思わず「違う」と言ってしまうましたね。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#2/17)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#2/18～#3/28)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/5～#5/23)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#5/24～#11/28)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/29～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/10・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)  
父の日(6/21・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/22・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)  
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/22～28)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)  
最後の晩餐集会(#4月2日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)  
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人の絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか  
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲  
げています。

わたし  
私たちはイエス・キリストを救い主として信じ  
ています。

しゅ  
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改  
めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、  
ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵み  
を明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、  
十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の  
国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の  
国に属して生きる者となった私たちは、聖書が  
示しているこの時代に、使命を全うすべ  
く、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と  
信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与  
えられた教会の一員とされたことを覚えながら、  
聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩  
みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

